

令和4年度 釧路高専出前授業 指導案

中学生向け

テーマ：「 宮沢賢治と妹とし子 」

講師：一般教育部門 小田島 本有

1. 指導目標

宮沢賢治にとって妹のとし子がいかに大きな存在であったかを理解してもらう。

2. 指導内容

「無声慟哭」「永訣の朝」を軸として、宮沢賢治の生涯を浮き彫りにする。

3. 学習キーワード

宮沢賢治、詩、童話

4. 授業展開

段階	学 習 活 動	留 意 点	時間
学校 PR			5分程度
導入	<ul style="list-style-type: none"> 宮沢賢治という詩人、童話作家について生徒に確認する。 「オツベルと象」「注文の多い料理店」「銀河鉄道の夜」など知っている作品を挙げさせる。その彼にとって妹が大きな存在であったことを教える。 	「オツベルと象」などを生徒たちは知っているはず。	10分
展開	<ul style="list-style-type: none"> 宮沢賢治の生涯 <ul style="list-style-type: none"> 父親との対立 理解者としての妹とし子の存在 「無声慟哭」「永訣の朝」の検討 <ul style="list-style-type: none"> 妹の死を賢治はどう受け止めたか 「オホーツク挽歌」 <ul style="list-style-type: none"> 妹の魂を追い求めた賢治の姿 		25分
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 宮沢賢治における妹の存在について <ul style="list-style-type: none"> 「銀河鉄道の夜」に託されたもの 「雨ニモマケズ」 		10分

計 50分